

インカムにたどり着いた

その源流には、自ら試したゆえの信念があった。類を見ないスタンスながら、カスタムショーでも注目を集めるショップとして躍進するセレクテッド。ツインカムが中心で旧くてもエボリューション、カスタムショップとしては

text/A.Takeuchi 竹内淳 photo/S.Ise 伊勢悟

バイクづくりを師事したロバート・B・セッチーニさん(右)。彼はすでにリタイヤしていたため、自分でバイクを組めと西岡さんに言ったことがすべての始まりだった



は半ば趣味のようなものだったとかた2代の頃の西岡さん。バイクづくり仕事の休みをつかってアメリカに渡っ



西岡さんのバイクとして共に組んだエボリジッドチョッパー。セレクテッドのスタイルに姿を変えながら今もお客さんが乗っているという

申し出は断られ、逆に進化したツイ

欲しいって頼んだんです」

ーラーさんに持っていって販売して

がカッコいいって思ってました」ショベルやらが多かったので、旧車

そんな勢いで、仕事の休みを利用

いいじゃん、て言われて。先輩達も

っていたら、

アメリカ行っちゃえば

に住んでいたカスタムビルダーに、してアメリカへ渡り、友人宅の近く

ハーレーを作って欲しいと頼んだ。

われました。それで、その人のガレ

教えてやるから自分で作れって言

似せた国産アメリカンが流行してい

た時代のハナシだ。

「ハーレー欲しいんですよねって言

ボリューションがデビューした頃。

レーサーレプリカ全盛、

ハーレーに

くと、意外な答えが返ってきた。エド代表の西岡さんのストーリーを聞タムの雄として躍進するセレクテッ

ドだったんです」 ツインカムカス

ボクの最初のハーレーはパンヘッ

自身のバイクとしてアメリカで組み上げたパンヘッド。当時の西海岸スタイルを思わせる鮮やかな仕上がり。このバイクが売れたことがセレクテッドの原点となる

んでいたという。

「ある時、アメリカで作ったバイク

知り合いの紹介でハーレーディ

ツを販売し、ビジネスの感触をつか

ーライセンスも取得。ネットでパー

社外パーツのディーラ

じて集まるようになった。 インカムのお客さん達がネットを通 パーツのネット販売から、 しさを学んだという。そんな間に マルから徐々にカスタムしてゆく楽 ていくツインカム用パーツで、ノー 西岡さんは、社外パーツのディーラ も壊れないし、こりゃ面白いな、と れるとワクワクして、遠くに行って その場でツインカムのスーパーグラ 乗ったことあるのか、と。 そのディーラーの社長さんが、お前 れない、と思ってました。そしたら ーという立場もあって、徐々に増え イドを契約しちゃいました。納車さ たら乗ってから文句言え、と。その 言葉で何かに打たれた感じがして、 ンカムの良さを語られる結果に。 「ツインカムなんて恥ずかしくて乗 こうしてツインカム乗りになった 徐々にツ 悔しかっ

> 年東京店を蒲田に移転しました。こ び始めて軌道に乗ったんです。 そしたらスタッフがあと半年頑張ら やすしかないな、と。3年後の20 店を出したんです。 教えてくれて、2005年に横浜に いますよね」 客さんにもスタッフにも助けられて がいい場所を…。 れも今度は東京店のお客さんの一人 賃貸期限のある場所だったので、 気で東京店は閉めようと思いました。 さんは来ない…。オープン半年で本 て。でもオープンしたものの、お客 条件のいい場所を見つけてきてくれ ました。この時もお客さんの一人が 08年に品川に東京店をオープンし っちゃって、こりゃ頑張って仕事増 友人づてで拒まずにいたら6人にな したら?って、すべての段取りを 「そんなお客さんの一人が、お店出 と。そしたら売上げも伸 ホントに要所でお で、スタッフも で、

チでアメリカで作っては売り、を繰売れてしまったという。そんなカタ

組んだのが黄色いパンヘッドです」

ージに転がっていた社外フレームで

本に持ち込んでネットオークション

自分のためのバイクだったが、日

に出品したところ、あっという間に

SELECTED CUSTOM MOTORCYCLE

その良し悪しを自身で経験するために 300ワイドを投入した自身のハーレー。後にファッションブランドとのコラボレートによって人気シリーズを生む一台になる

2005年にオープンした頃の横浜店。 「在庫車両もパーツもないです(笑)」 と西岡さん。この場所からお客さんの 満足を生み続けていった



ROYAL

横浜にセレクテッドをオープしてさせるすべての手助けを がオープしてくれたというお客さんがオーナーといスタイルを マーンがある。 マーンがながら、そのジェントルな人柄をイメージして製作したという。 細部の関係技術が飛むにアップしているところも見所。2012年製作

SelectedCustom

とのポジション、そしてファッショ が人と一体になり走る姿。オーナー それでプロモーションビデオをショ れる他のバイク見るとスゲーカッコ じゃないと満たされなくなってきた るラクさや機能、便利さのあるバイ インカムに乗るようになって、 ンもついてないようなカスタムがカ つの方向性が生まれてきた。 大画面に映るのは、飾られたバイク インカーついてるし、 いなあって思います。ウチのはウ で流すようにしたんです」 乗って走ってカッコいいバイク いと思ってました。でも、 そのそぎ落とした感はない もちろん、ショーで展示さ ナンバーつい



昨年に蒲田へと移転した東京店。広いスペースと充実した設備 で、ウインカー交換からフルカスタムまで一手に引き受ける



Olazer

西岡さんの考える夢のカタチを実現させた一台。スイングアームフレームにハイパワーモーターを搭載し、走りの機能性を追求しながら、チョッパーの美しい姿もあわせ持つという新たな方向性を示す。2013年製作



ョーへの興味が湧いてきた。その頃

東京店が軌道に乗り、カスタムシ

KING OF WAY

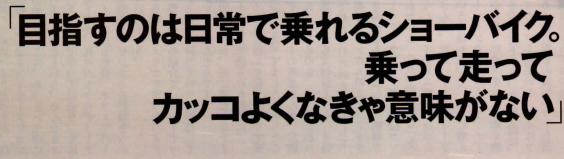
さが根付く中で、カスタムにもひとョップへと変わり、乗ることの楽しクの店から、ツインカムメインのシ

ツアラーからスポーツスターまで、ベースを問わないセレクテッドのスタイルを示した一台。クルマ用のナビを 搭載するなどツアラーゆえの新たな試みが盛り込まれる。 2011年製作



ROYAL CLOWNS

公認でツインカムフレームをストレッチすることに初め で挑み、ロイヤルシリーズとしてセレクテッドの名前を 世に知らしめた。東京店の店長を務める鈴木飛雄さんを、 有能なビルダーとして開花させた一台。2010年製作







西岡さんが自信を持つセッティング。数値によってさらに確実 な答えが出るようになったという。ダイノジェットにチョッパ ーが乗る姿は、未来を見据えたショップの方向性を表す

